

施設類型 供給処理施設

施設分類 ごみ処理施設

①施設概要

市内の廃棄物の適正な分別・保管・収集・運搬・再生・処分等の処理をし、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的とし設置しています。

施設分類	カルテ番号	対象施設	所在地	所管
ごみ処理施設	103	クリーンセンター	山梨 2002	クリーンセンター

【施設の位置図】



②現状と課題

【施設データ】平成 29 年度末現在

施設名	中学校地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	m ² あたり単価(千円)
クリーンセンター	旭	H4	25	50	7,168	直営	正 3 嘱 2 委 27	632,861 ※	163,087	△469,774	88.289

※施設の管理運営に係る費用であり、収集運搬や処理処分に係る費用は除いています。

クリーンセンターは、工場棟など 5 棟で構成し、総延床面積は 7,168 m²。この内、工場棟は、鉄骨鉄筋コンクリート造 5 階建て（地下 2 階）、延床面積 5,697 m²。管理棟は、鉄筋コンクリート造 2 階建て、延床面積 893 m²。計量棟は、鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積 19 m²。ランプウェイは、鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積 424 m²で、いずれも平成 4 年に建設した新耐震基準の建物です。また、倉庫は、鉄骨造平屋建て、延床面積は 135 m²で、平成 9 年に建設した新耐震基準の建物です。

これまで数次の改修を行っていますが、建設から 25 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。

クリーンセンターは、集積所に排出された家庭ごみや、クリーンセンターに直接搬入される粗大ごみ、事業系一般廃棄物をごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設で処理を行っているもので、日曜・祝日・年末年始を除く毎日、市内で収集した可燃ごみ等を受け入れ、処理能力 165 トン/日（82.5 トン/24h×2 炉）のごみ焼却施設及び処理能力 15 トン（15 トン/8h）の粗大ごみ処理施設を稼働し、24,240 トン/年のごみを処理しています。

また、粗大ごみの直接持込みを平日の 9 時から 11 時 30 分まで及び 13 時から 16 時まで（土曜日は 9 時から 11 時 30 分まで）受け入れているほか、粗大ごみの戸別収集については、平日の 8 時 30 分から 17 時 15 分まで受け付けています。

管理運営は直営ですが、焼却炉等の運転管理等は委託し、管理運営費は 632,861 千円/年（市職員人件費を除く。）で、ごみ処理手数料等の収入は 163,087 千円/年となっています。

③施設評価と対応方針

「施設の安全性、必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」について以下のように分析しました。

【分析】

対象施設	施設の安全性、必要性	施設の有効性	管理運営の効率性
クリーンセンター	<ul style="list-style-type: none"> 耐震基準を満たしていますが、老朽化が進んでいます。 市内から排出される一般廃棄物の処理施設であり、今後も継続していく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内で収集した可燃ごみ等の受け入れと処理を行い、公衆衛生の向上に欠かせない機能となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 焼却炉等の運転管理業務等を委託し、効率化を図っています。

上記分析を踏まえて、当該施設については、以下のように評価し、対応します。

【評価結果】

対象施設	方向性		説明
	機能	施設	
クリーンセンター	継続	建替	【機能】 ・市内で収集した可燃ごみ等の受け入れなど、処理施設として必要不可欠な機能であり、今後も継続していく必要があります。 【施設】 ・耐震性は確保していますが、老朽化が進んでいることから建て替え等が必要です。 【管理運営】 ・新施設への移行の際は、民間活力を活用するなど管理運営の効率化が必要です。

【対応方針】

- 全体的な施設の老朽化が進んでいることから、新施設建設を進めます。
- 新施設の建設にあたっては、DBO方式により民間の技術・ノウハウを導入し、建設コストや管理運営の効率化を図ります。また、ごみを焼却する際に発生する熱エネルギーの活用を行うなど、更なる効率化を図ります。
- 建て替え後は、予防保全を含め、施設の計画的な改修などを行い、長寿命化を図ります。
- 新施設稼働後の現施設のあり方を検討します。

④展開スケジュール

課題事項	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (R元年度)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)	2028年度 (R10年度)
クリーンセンターの移転・建て替え	●							→				
			新施設の整備（本体工事等）									
施設の長寿命化						●	→	●				→
						長寿命化計画策定					計画に基づく対応	
建て替え後の現施設のあり方の検討						●		●				→
						現施設のあり方の検討					検討結果に基づく対応	